

インド地震救援 三宅医師が 岡山を出発

津曲事務局次長④と握手を交わし
に発する三宅医師



大地震で死者三万人以上の被害を受けたインド中部での医療救援活動のため、アジア医師連絡協議会（AMD A、本部岡山市、菅波茂代表）本部から派遣される三宅和久医師③が六日、岡山を出発した。七日に空路ボンベイ入りする。

三宅医師は、津曲兼司事

務局次長らAMD A本部の四人とともにJR岡山駅に到着した。三宅医師は「現地は何もない状況であり、まずは救援活動の下地づくりに全力を挙げたい」と抱負を話した。津曲事務局次長らと握手を交わした三宅

医師は午後零時四十七分発の新幹線こだまに乗り込み大阪へ向かった。

AMD Aは四日、多国籍医師団を編成して派遣することを決定。三宅医師は十六日までAMD Aインドをはじめ五カ国の医師とともに現地で救援活動に当たり、十七日に帰国する予定。